

～題材：おしごとをがんばろう～

【ねらい】

当番や係りが人の役に立つことに気づき、めあてをもって学級の仕事に取り組むことができるようにする。



【写真①：板書】

【学習過程（略案）】

10月17日（水）5時間目

過程	主な学習活動	指導上の留意点
つかむ	1 当番や係りの仕事で、頑張ったことやうれしかったことについて話し合う。 ・「ありがとう」と言ってもらえた。 ・野菜が大きく育った。	○ これまでの活動の姿を掲示し、自分の頑張りの成長が想起できるようにする。
さぐる	2 自分たちは、誰のために、どうして当番や係を頑張っているのかについて話し合う。 ・自分のため ・うれしくなる。 ・楽しくなる。 ・みんな（学級）のため ・役に立つ。 ・気持ちよくなる。 めあて もっとおしごとをがんばって、きらりとひかるクラスにしよう！！	○ これまでの活動や学級会のあゆみなどにも触れることで、自分や学級のためにがんばってきたことを想起させ、これからもっとがんばりたいという意欲を高める。
みつける	3 学校で頑張っているお兄さんやお姉さんから、頑張っている理由や心掛けていることを聞く。 ・みんなが気持ちよく過ごせるために頑張っている。 ・忘れないように心掛けている。 ・人から言われる前に自分からすすんでしている。	○ 事前に課題を基に打ち合わせをして動画を準備する。 ○ 写真や映像の人の思いを知ること、自分も何かを頑張りたいと思えるように発問する。
磨き合う	4 これから、どのようなことに気を付けて当番や係を頑張っていくのかを話し合う。 (1) 自分のめあてを考える。 (2) 自分のめあてを発表する。 (3) 友だちのよいところを見つけたり、アドバイスしたりする。	○ 友だちのめあてを肯定的な雰囲気の中で聞けるように指導する。 ○ 友だちのめあてのよさや、その子にあった課題の解決策などをアドバイスできるように指導する。
決める	5 これから、どのようなことに気を付けてお仕事をがんばっていくのか、意思決定しワークシートに記入する。 ○ 今日の感想を全体で共有する。	○ 友だちのアドバイスを受けて、より自分にあつためあてを意思決定できるように指導する。

指導のワンポイント

☆ 子ども一人一人が必要感を高めるための手立て

○ 「つかむ・さぐる」過程での工夫

・子どもたちのがんばりを想起させる写真の掲示

これまで、自分たちががんばってきた当番や係りをがんばっている写真を掲示して称賛することで、もっとお仕事をがんばりたいという意欲を高められるようにした。

○ 「見つける」過程での工夫

・上級生のがんばりとアドバイス動画（写真②）

上級生へ委員会活動や係について事前に聞き取りをしており、コメントや動画で提示することで、どんなことを意識してお仕事をがんばっているかを知り、自分のめあてのヒントにできるようにした。



【写真②：アドバイス動画】

☆ 強い決意をもって個人目標や実践方法を意思決定するための手立て

○ 「磨き合う」過程での工夫

・仮の意思決定

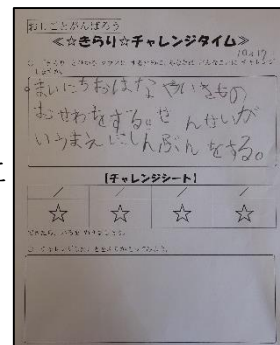
自分のめあてを立てさせた後、上級生のコメントや動画をヒントにして一人一人のめあてについて、もっとこうしたらよくなるというアドバイスをし合った。

○ 「決める」過程での工夫

・意思決定の決意表明

上級生からのヒントや友だちからのアドバイスをもとに自分にぴったりのめあてを意思決定しワークシートに記入させた。

最後には、全員の前に出て自分のめあてを発表させることで、より強い決意をもって実践につなげられるようにした。



【写真③：ワークシート】

成果

- 低学年の段階でめあてを工夫することは難しいが、上級生のコメントや動画のヒントとなる言葉を掲示し、参考にすることで自分に合うめあてを決めることができた。

アドバイス

- 低学年では友だちに的確なアドバイスをすることが難しかった。そのため、上級生のアドバイスを参考にして、子どもと対話を繰り返しながら一緒にぴったりのめあてを決めていくと、よりスムーズに意思決定を行うことができると感じた。